



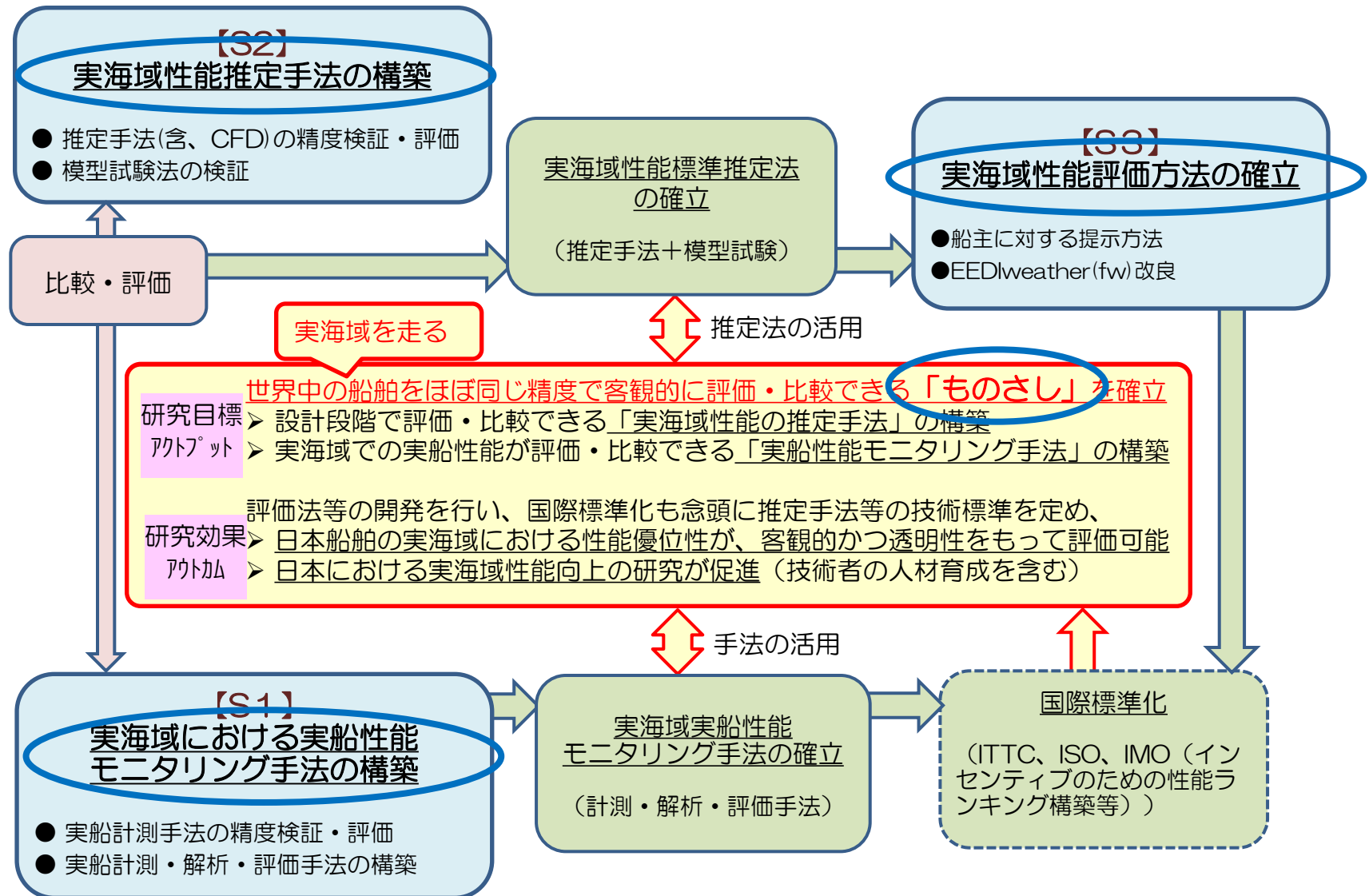
2024年8月27日

実海域実船性能評価（OCTARVIA）プロジェクト フェーズ2
成果報告会

OCTARVIA会議 総括

OCTARVIA会議 議長 （一財）次世代環境船舶開発センター 松本光一郎

1. OCTARVIAフェーズ1 (2017/10~2021/3) 目的



1. OCTARVIAフェーズ1 (2017/10~2021/1) 今後の課題

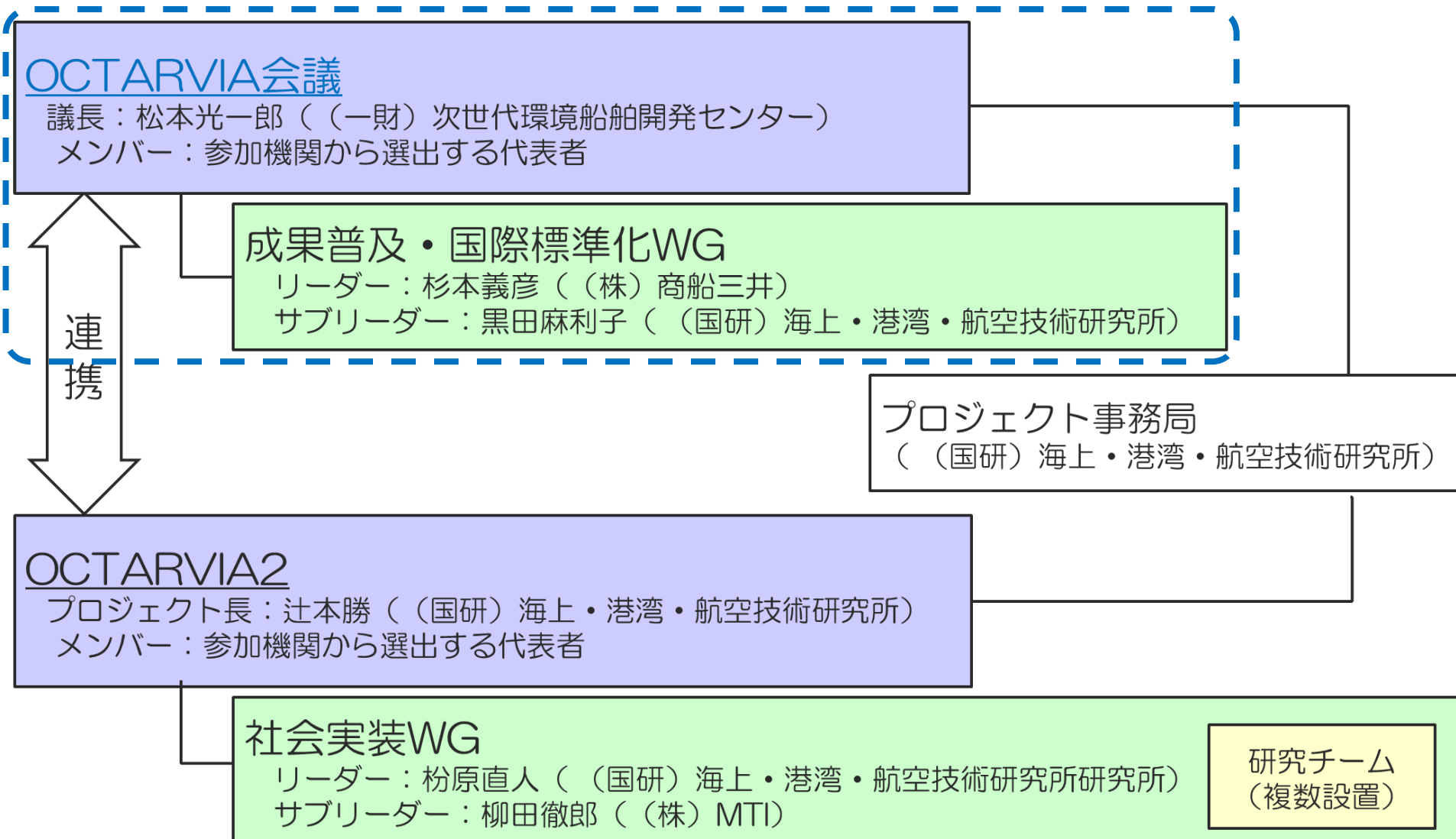
- 1) 研究の成果の普及と継続／高度化
- 2) 国際標準化



OCTARVIAフェーズ2 (2022/3~2024/3)

- 実海域実船性能評価プロジェクト会議（略称：OCTARVIA会議）
 - 研究成果の取扱い（公開／販売／提供／維持）
→ 普及
 - 国際標準化対応
- 実海域実船性能評価プロジェクトフェーズ2研究会（略称：OCTARVIA2）
 - 社会実装（設計／運航現場での活用）→ 普及
 - 研究成果／アプリのブラッシュアップ（機能強化）
 - 研究の継続と将来課題の解決
 - 国際標準化のための研究

2. OCTARVIAフェーズ2 (2022/3~2024/3) 実施体制



2. OCTARVIAフェーズ2 【OCTARVIA会議】 成果普及・国際標準化WG

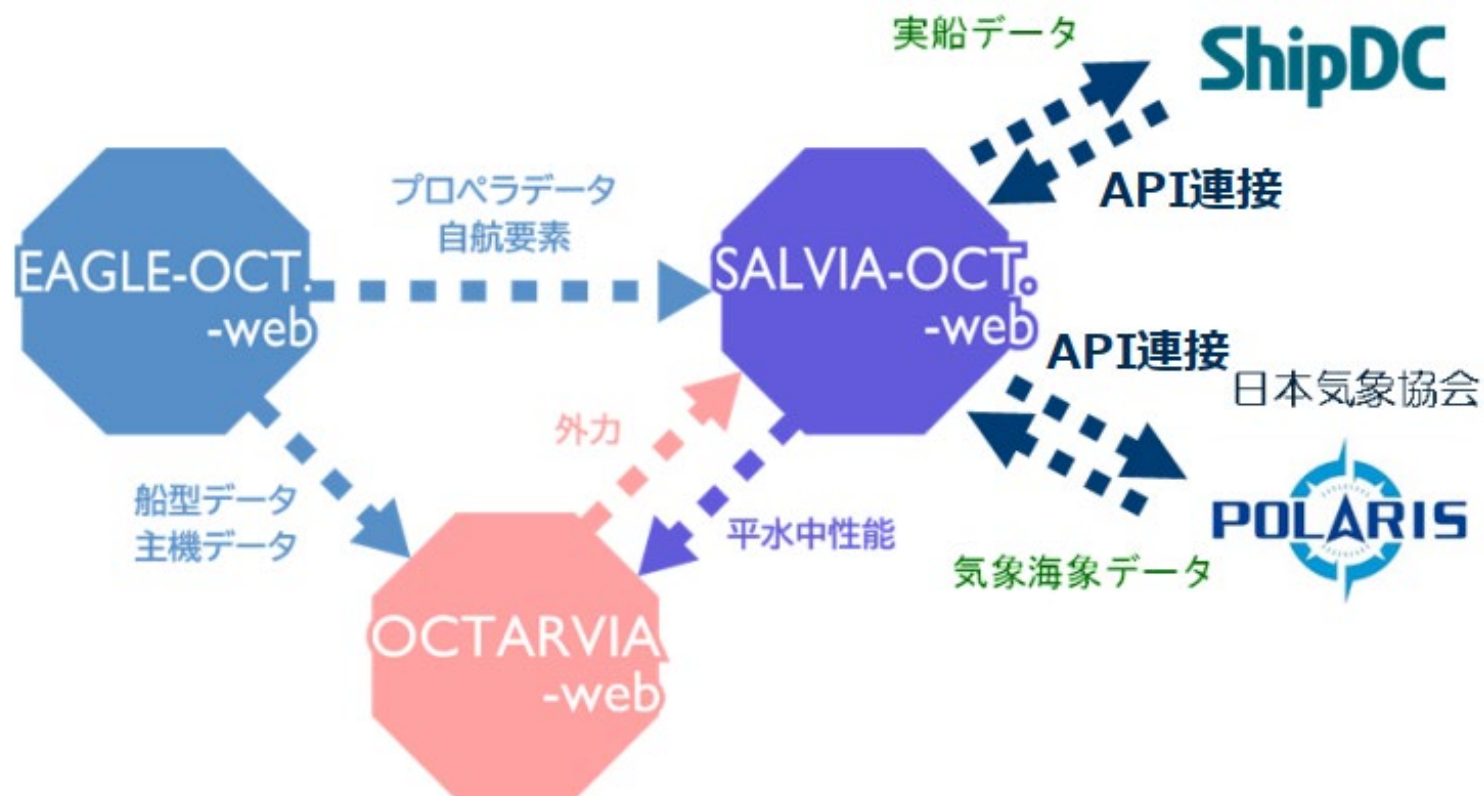
- 1) 計算プログラムの外部利用の促進（→普及）
- 2) 国際標準化・基準化への対応

2. OCTARVIAフェーズ2【OCTARVIA会議】

成果普及・国際標準化WG

1) 計算プログラムの外部利用の促進

① クラウドアプリと外部API接続

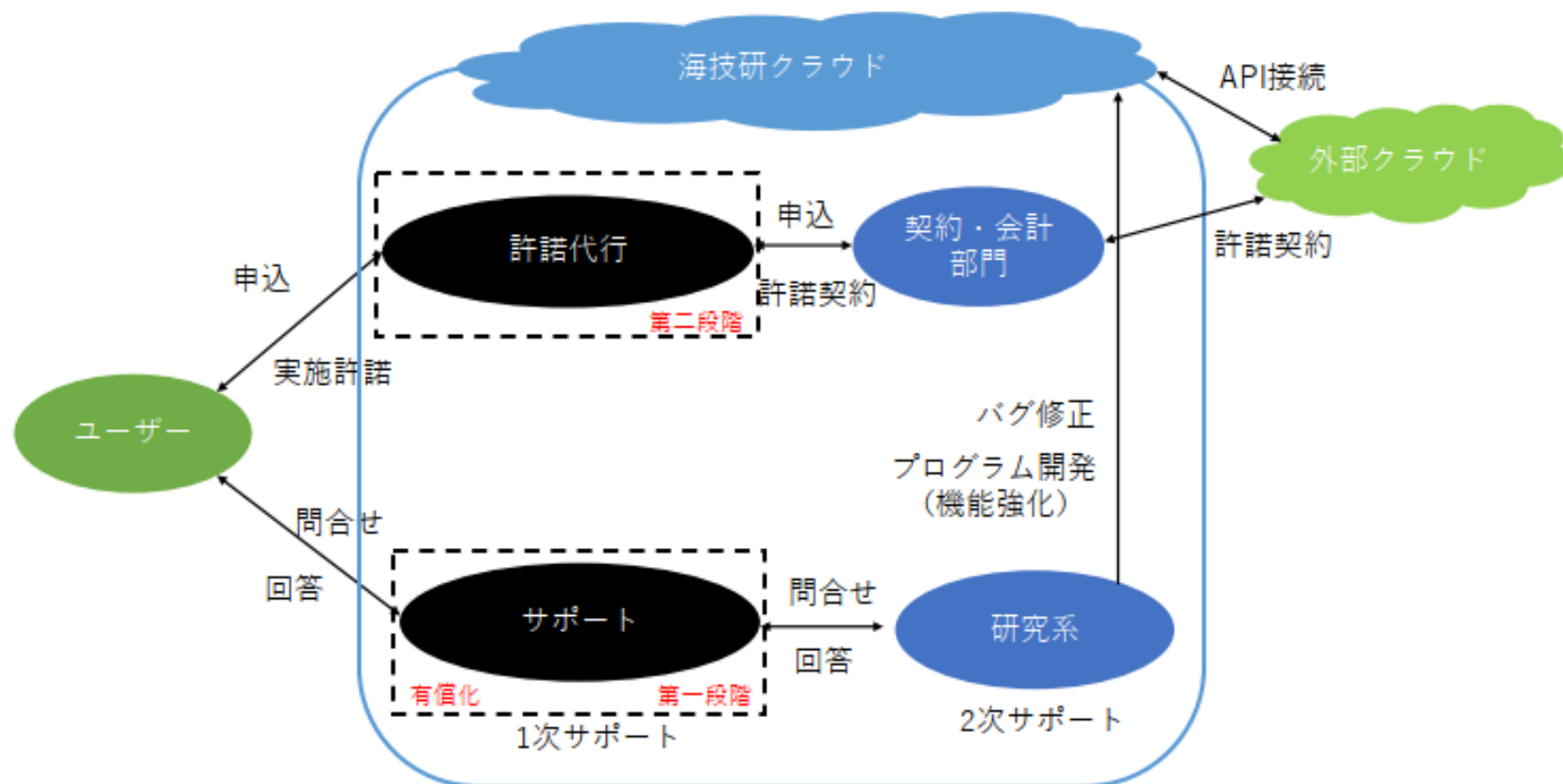


2. OCTARVIAフェーズ2 【OCTARVIA会議】

成果普及・国際標準化WG

1) 計算プログラムの外部利用の促進

② サポート体制の構築



2. OCTARVIAフェーズ2【OCTARVIA会議】

成果普及・国際標準化WG

1) 計算プログラムの外部利用の促進

- ③ 利用環境の向上（アンケートの実施、等）
- ④ 普及促進活動（外部向けセミナー、等）



アプリの改修／マニュアル整備に反映

→ユーザーの利便性向上に貢献

成果普及活動は今後も継続する

2. OCTARVIAフェーズ2【OCTARVIA会議】 成果普及・国際標準化WG

2) 国際標準化・基準化への対応

① 新規 ISO 提案

- ドラフトの作成
- 普及活動
国内外の関連機関への根回し／協力依頼
- ISO/TC8/SC2（環境分科会）での提案を目指す
指したワークプラン作成



新規 ISO 化のための活動は、OCTARVIA会議メンバーを中心に今後も継続する

ご清聴ありがとうございました。